



初夏の尾瀬 2023年6月 撮影：千葉 雅子

～目 次～

- | | | |
|------|--|---------------------|
| p. 1 | 1. 2023年 KECA 活動方針の中から | 理事長 真砂 文夫 |
| p. 1 | 2. 第27回市民環境活動報告会 | 真砂 文夫 |
| P. 2 | 3. 第3回内部監査員養成講習 | 岸 高志 |
| p. 2 | 4. 環境教育インストラクター応募資格取得セミナー開催 | 松野 信夫 |
| p. 3 | 5. 今年もシジュウカラのひなが巣立ちました。2015年から9年連続、16回目です。 | |
| | | 岡本正義、美知子 (KECA 非会員) |
| p. 4 | 6. 「KECA の役割を踏まえた活動目標の提案」 | 河野 健三 |
| P. 5 | 7. 新入会員自己紹介 | 及川 喜代文 |

1. 2023 年 KECA 活動方針の中から

理事長 眞砂 文夫

KECA では 2023 年度の定時総会を 4 年ぶりにリアル総会として開催しました。ようやくコロナも終息に向かう兆しがありほっとしているところです。

2023 年度の活動方針は 5 つ程あげましたが、その中で 3 つ程ご紹介します。

- (1) 2020 年度から取り組んできた組織改革の集大成として「2023-2025 年までの 3 年間で中期計画の実行期間」と位置づけ KECA 中期計画を作成し、その活動を総会で承認しました。
- (2) 受託事業の見直しを行い、自治体への環境カウンセラー登録の促進と KECA 会員の利活用を促すべく、KECA の活動のご紹介を 2 年かけてすることにしました。
- (3) 本部体制の見直しを行い、役員体制・経費の見直しを図るとともに本部事務所の移転により、持続可能な財務構造の実現を図りました。

(1) については、

創立以来 25 年続けてきた組織体制を会員の減少に合わせて見直し、横浜支部を除く 6 つの支部を廃止、地区制に変えて、「地区毎のメーリング網の導入と連絡係の設置」により、少人数でもコミュニケーションの維持ができる仕組みに移行。

また、会員の増強面でも、2022 年度で会員の減少に歯止めがかかったことを好機として「自己紹介シート」を導入、会員個人の夢、希望の実現と会員のさらなる能力と活動をサポートできる仕組みに変えて運営することにいたしました。

会員の募集において、IT 利用と会員の力を借りて取り組んでいきたいと思えます。

(2) については、

中計施策検討の過程で他のカウンセラー協会の活動に学ぶ機会があり、「環境カウンセラー千葉県協議会」の対外的な取り組み方に大きな感銘を受けました。

2023 年度からの 2 年間で自治体へ環境カウンセラー登録の促進と KECA 会員の活用を促すべく、KECA の活動のご紹介を重点とする方針をかかげました。

具体的には、環境教育事業、セミナー事業に重点を置き、「環境教育インストラクター資格取得セミナー」「出前環境教育」「プロジェクトによるセミナー事業」に注力。県内 33 市町村への活動のご紹介とニーズの掘り起こしをしていく計画です。

(3) について、

2023 年度からの中計施策の推進に合わせて、本部役員の推進体制を「組織機能強化」「会員増強」「広報」「監査」の 4 つの複合チーム体制に移行し推進。

活動経費も本部経費に置いていた諸経費を事業に関わる経費と本部固有の経費に分け、事業に関わる経費は事業収入の増加で賄うとの考えに改定。また、本部経費も「事務所の縮小移転」「電話・FAX の廃止」「低コスト IT 機器への入れ替え」「関係団体との年会費の見直し」等でコスト低減に取り組みました。

2023 年度は、あらたな KECA の再スタートの年です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2. 第 27 回市民環境活動報告会 開催報告 眞砂 文夫

日時：2023.3.5 かながわ県民会館 大ホール

主催： NPO 法人 神奈川県環境学習リーダー会、 NPO 法人 かながわ環境カウンセラー協議会、 かながわ地球環境保全推進会議

後援： 神奈川県、横浜市温暖化対策統括本部

報告会発表テーマ

- 「県民の皆さんと守る、水源河川の生物調査」 神奈川県環境科学センター 長谷部 勇太
- 「全方位同時改革のご紹介」 ガーデンフィールド 代表 廣田祐次
- 「海と川でのプラゴミ収集の実践」 高橋隆昌
- 「洋光台サイエンスクラブの活動について」 はまぎん こども宇宙科学館 事業課インタープリター小坂美紀
- 地球温暖化防止の環境市民活動 神奈川県地球温暖化防止活動推進員 村越弘和

当日は、まだコロナの感染が収まらない環境の中、3年ぶりでのリアル発表会の開催の為参加人数を50名に限定。45名の参加をいただいて開催出来ました。当日は、KECA教育委員会から、大竹さん、大野さん、眞砂が事務局として参加、KECAからも多数の会員の方が参加されました。

3. 第3回内部監査員養成講習 岸 高志

日時：2023年1月19日(木)13時～16時50分、20日(金)9時～15時

P社の全国の工場から28名が参加し、2日間のスケジュールで内部監査員養成講習が横浜の万国橋会議センターで開催されました。座学と演習を繰り返し理解度テストで、最低でも87.5点の高得点で、有意義な講習になりました。

- (1) 環境に関する最新情報
- (2) EA21ガイドライン要求事項
- (3) 2022年内部監査実施状況説明
- (4) EA21内部監査の基本
- (5) EA21内部監査演習の説明
- (6) EA21内部監査演習 ①、②、③ 個別作業(15分)、Gr討議(30分)、Gr発表(25分)、解説(5分)
- (7) 講評、理解度の確認テスト
- (8) 全体の質疑応答、解説、**修了証**の授与。

4. 環境教育インストラクター応募資格取得セミナー開催 松野 信夫

環境問題を広範囲かつ多角的に思考しながら学習指導を行なうことができる指導者の認定を目的にした「環境教育インストラクター」という資格があり、その応募資格が得られる標記セミナーを2022年12月24日、25日に横浜市役所の中の会議室で行った。当セミナーは、資格試験主催団体が承認して開催されたものです。岡本前委員長と掛橋さんが中心となり、KECA会員7名の協力を得て、実施された。

今回は、大学生2名の参加があり、幅広い年齢層の首都圏在住・在勤・在学の計11名が参加した。横浜市温暖化対策統括本部政策調整幹の大賀様の基調講演の他、環境教育に関連する各種講演聴講の後、地球環境系、事業者教育系、自然環境系の3つに分かれてグループワークを行った。各自が考えた環境教育計画書について、模擬授業形式で発表及び質疑応答を行い、環境教育計画書のブラッシュアップが図られた。グループワーク及び代表者の発表に計5時間を費やした充実した内容であった。グループワークも含め、好評でした。なお、前年度同様、各自パソコン持参の上、ペーパーレスで行った。今年度も開催する予定です。



5. 今年もシジュウカラのひなが巣立ちました。2015年から9年連続、16回目です。 岡本正義、美知子 (KECA 非会員)

国立科学博物館の筑波実験植物園を見学した時に、園内に巣箱をたくさん設置して研究をしている鳥類の先生から、巣箱を設置するコツを教えてくださいました。日本野鳥の会のHPから、シジュウカラの巣箱をネットで購入し、2015年の初めに家の庭に付けてみたところ、すぐにシジュウカラが営巣し、ひなが巣立ちました。

感激でした。これは面白いと言う事で毎年、営巣とひなの巣立ちを観察するようになりました。



2015年はひなが9羽巣立ちました。2016年に巣箱をもう一つ購入して、庭に2ヶ設置しました。そうすると5月に1回目の営巣を確認し、6月には別のつがいが2つの巣箱に同時に営巣し、7月2日にひなが同時に巣立ちました。それ以来、2023年まで9年間、毎年営巣し、16回を記録しました。



シジュウカラ：黒いネクタイが特徴

これまでの観察から気が付いたことやエピソードを紹介します。巣箱の出入り口の大きさは、28mmφより大きくても、小さくてもダメです。シジュウカラの体長は14.5cmでスズメ並みです。卵の大きさは17mmと非常に小さく、孵化してから16日間で親鳥並みに成長して巣立ちます。従って、孵化した後、親鳥2羽がエサを運ぶのは、1時間に18回ほどになります。ひなが巣立った後の親鳥の羽根は、くたびれた状態になります。



卵:横 17mm
縦 14mm

卵を9個ほど産みますが、いっぺんに9個は産みません。鶏と同じように1日に1個、9日間ほど掛けて産みますが、巣立ちは1日で終わります。温める日数がちがう？不思議！

どうも9個全部産んでから親鳥は温めを開始するようです。巣立ちまでの日数差はないことになります。

そろそろ巣立ってほしい時は、親鳥は鳴き声で巣立ちを促したり、エサを啜えて来てエサで釣るようにしたりといろいろと工夫をします。親鳥が近くにいる時に巣立つようですが、近くにいない時に慌てて巣箱から出て、「しまった！早すぎた」と仲間のひなから「ダメだよ！」と言われて巣箱に戻ったこともありました。



親鳥がエサを啜えて、巣立ちを促します

ひなが巣立つ時期になるとどこからかへびが出てきます。巣立ち能力が十分でないひなが巣箱の下に落ちて、へびが啜えました。それ！一大事とほうきでへびをたたき、ひなを救ったこともありました。

ひなは血を流していましたが、巣箱にもどすと親鳥がすぐに来て対応しました。2日後には無事巣立っていきま



ひなを襲ったへび 傷ついたひな、血がながれている

へびや猫よけに鉄条網を木に巻き付けることもやりました。



ひなが巣立った後の巣箱の中:糞や卵の殻一つもないきれいきさです

環境保全と自然保護は大事な地球環境問題です。生き物を大事にする活動は地球環境を良くすることに繋がっていると考えています。

今朝もツープイー、ツープイーとシジュウカラが鳴いています。窓辺に来てエサをちょうだい！と催促します。かわいいです。

尚、シジュウカラの世話は女房（美知子）が主体的に行っており、私も協力していることを付け加えます。

6. 「KECA の役割を踏まえた活動目標の提案」

～再生可能エネルギーの普及と資源の有効活用～ 河野 健三

1) はじめに

- (1) KECA は今年、1998年3月の設立から25年目を迎えました。私の入会は2005年ですが、今までの18年を振り返ってみると、KECA の役割は「自然を守る」ことにあるのではないかと考えています。KECA の役割を「自然を守る」こととすると、そのために何をしなければならないか？と考えた活動目標（叩き台）が「再生可能エネルギーの普及と資源の有効活用」です。
- (2) この活動目標は最近の浜定例会で、話題を提供して頂いたお二人の会員の方の話題からヒントを得て生まれました。話題は「地中熱利用の現況」と「地域と連携した環境教育」でしたが、会員のお二人はそれぞれの場所で確固たる活動をされているとの印象を受けました。これからの KECA での活躍を期待しています。
- (3) 浜定例会は2021年9月の開始からもうすぐ2年になります。定例会は会員の皆様から話題を提供して頂いて議論する情報・意見交換会として運営してきました。今後もそれは変わりませんが、もう一つの目的として「活動の仲間づくり」を念頭に置いて、情報・意見交換をしていきたいと考えています。KECA にはこのような人がいるのか、このような活動をしているのか、を知るきっかけになると思いますので浜定例会への参加をお願いします。

2) 再生可能エネルギーの普及と資源の有効活用そして KECA の広報活動

KECA が取り組むべき分野のキーワードを二つ上げるとすれば、私は「エネルギーと資源」ではないかと考えています。

- (1) エネルギーと資源は私たちの日常生活で欠くべからざるものです。特にエネルギーについては脱炭素・脱原発が叫ばれる中で、私は日本が原子力発電と火力発電に大きく依存し過ぎているように思います。自然エネルギー活用への啓発活動が必要です。
- (2) 3月の浜定例会では話題として「地中熱利用の現況」をテーマにお話しして頂きました。地中熱は身近にある自然エネルギーですが、私としては目から鱗が落ちる気持ちでお話を聞きました。世界ではアメリカや中国が先行しており、日本は大幅に遅れています。しかしながら、新築された横浜市役所では採用されており（下記 URL 参照）、KECA 事務所がある、みなとみらい地区でも普及しています。
「[導入事例 横浜市役所 | 水・土壌・地盤・海洋環境の保全 | 環境省 \(env.go.jp\)](#)」
- (3) もう一つのキーワードである資源について、私は食料自給率の向上が必要と考えています。ここへ来て低下傾向に歯止めがかかり、今後は上昇傾向に転ずることが期待されます。

（下記 URL 参照）

「[日本の食料自給率：農林水産省 \(maff.go.jp\)](#)」

嬉しい限りですが、どなたか詳しい方に話題を提供して頂けると幸いです。ご一報ください。

(4) KECA は広報活動にも大きな役割を担っていると考えています。例えば、横浜市役所やみなとみらい地区には地中熱が導入されていること、横浜市役所がはじめてではなく、泉区で効果を検証し、南区と金沢区には既に導入されているようです。このようなことを世間一般の方にも知ってもらい、周りの人に伝えてもらう、KECA の役割の一つと考えています。

(5) 今までの KECA ニュースは活動の報告が多かったですが、これからは今後の活動の方向性を示す記事にも目を向けていきたいと思えます。会員の皆様の投稿をお願いします。

3) 浜定例会で会員の皆様の自主的取組みの紹介をお願いします

冒頭の「1. はじめに」(3) で申し上げたように、浜定例会は会員皆様の情報・意見交換の場です。自分はこのような活動をしている、一緒にやりませんか? など、どのようなことでも結構ですので、情報提供をお願いします。

ほぼ毎月の下旬、19時～、ZOOM ミーティングで開催します。

開催日は話題を提供して頂く会員の方のご都合に合わせて決めております。

7. 新人紹介 及川 喜代文

今年の2月に KECA の仲間に入れていただきました及川喜代文です (横浜在住)。環境に関するボランティアを中心に、NPO 法人地中熱利用促進協会や神奈川県地球温暖化防止活動推進員などの活動を行っています。昨年は KECA のセミナーを受講し、「環境教育インストラクター」の資格を取得しましたが、実際の活動は未だ実践できていません。今年は環境カウンセラーの資格を取得することを目標に市民部門に登録させていただきました。現役時代はゼネコンで建築設備 (主に空調・衛生) を担当しておりましたので、どちらかと言えばエネルギー関連が得意です。来春には 74 歳を迎えますが、KECA の皆さんと活動して参りたいと思えます。皆さん、よろしくをお願いします。

【編集後記】

かけがえのない地球を未来の世代に受け渡すために、当協議会はコロナの収束と世界平和を願い、環境活動をしてまいります。

表紙画像について; 6月に尾瀬に行った時の画像を掲載しました。梅雨の晴れ間、大勢の人が散策していました。(千葉)

発行日; 2023年8月1日

〔発行〕特定非営利活動法人

かながわ環境カウンセラー協議会 (KECA)

理事長: 真砂文夫

編集: 広報部会 (山口和之、千葉雅子)

◇住所: 〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1
横浜ワールドポーターズ 6 階 NPO スクエア内

◇電話: 045-226-5822 FAX: 045-226-5825

◇E-メール: 37keca@kke.biglobe.ne.jp

◇URL: <https://keca-kanagawa.jimdo.com/>